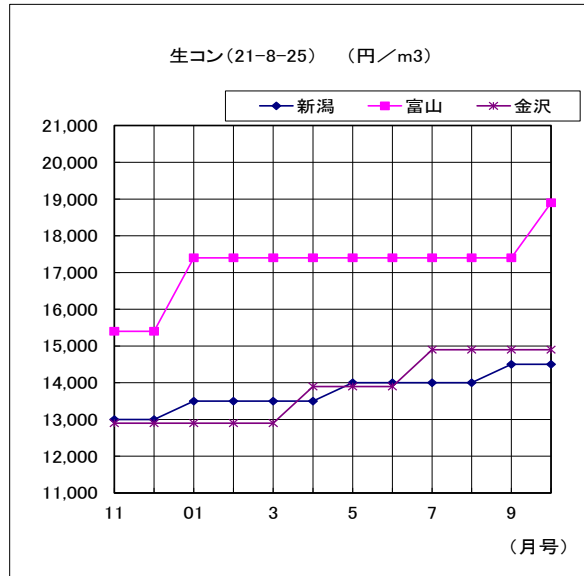
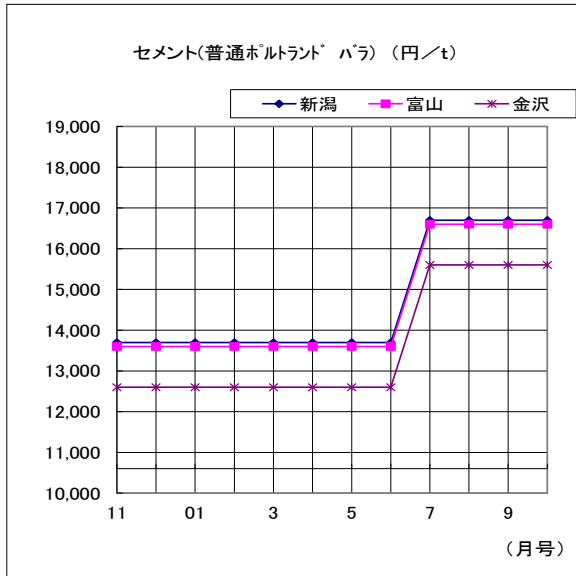





# 5. 主要建設資材の市況




記事提供：(一財)経済調査会 北陸支部




品目	7～9月期の状況と現況	先行き
セメント	3県で高値を維持 【新潟県】主要な需要者である生コンメーカーの出荷量は年々減少傾向にあり、セメントの荷動きも低調に推移している。大幅値上げの要因であった石炭価格は足元では下落傾向にあるが、高値掴みとなった分のコスト吸収や脱炭素へ向けた投資等を理由に、販売側では安値販売をしない方針。先行き横ばいで推移しよう。 【富山県】最大需要者である生コンメーカーの出荷が低水準な中、セメントの荷動きも精彩を欠いている。大幅値上げが市場に浸透して以降、原材料となる石炭の価格は安値で落ち着いているが、供給側の採算重視の販売姿勢に変化はなく、需要者の指し値に応じる様子は見られない。先行き、横ばいで推移しよう。 【石川県】原材料となる石炭価格の高騰に起因するセメントの大幅値上げが市場に浸透して以降、石炭価格は軟調推移。しかし、セメントメーカー各社は電気料金や輸送コスト増を懸念し、需要者側からの指し値には応じず、現行価格を維持する構え。先行き、横ばいで推移しよう。	先行き (パ7物) (新潟) (富山) (金沢)
	3県で価格上伸 【新潟県】新潟生コン協組では、令和4年1月と10月の2回に及ぶセメント値上げを受け、令和4年10月契約分より、m3当たり2,000円の値上げを打ち出した。令和5年4月には骨材の値上げもアナウンスされ、原材料市況が軒並み高騰している中、協組では需要者との値上げ交渉を急務としている。地区内の出荷量が減少傾向にあり、非組合員へ物件が流れるケースも散見されるが、協組は数量より価格重視の方針を堅持した結果、8月には値上げの一部であるm3当たり500円の値上げが浸透した。非組合員においても販売価格を底上げする動きがあり、先行き、強含みで推移しよう。 【富山県】需要は低調に推移する中、原材料費、輸送費、電気代の高騰を理由に、県内各協組では昨年度から今年度にかけて値上げを表明。各協組では粘り強く需要者と交渉を続け、非組合員においても値上げに追随する姿勢を示したことで、新川地区を除く3地区で9月までに値上げが浸透した。新川協組も強気の姿勢を示すなど、目先、強含みで推移しよう。また、骨材価格が強含みであることを背景に、富山・砺波協組では追加値上げを表明しており、先行き、強含みで推移しよう。一方、高岡協組は追加値上げの時期や価格について慎重に検討を重ねている。目先、横ばいで推移しよう。 【石川県】金沢地区生コン協組は2023年4月より+1,500円/m3の値上げを表明し価格交渉を展開している。需要者側は度重なる値上げに難色を示しているが、供給側の売り腰は強く先行き、強含みで推移しよう。また、鶴来地区管内における3工場は2023年4月より+3,000円/m3の値上げを打ち出した。主原材料であるセメント価格が大幅に上昇したことは需要者側も理解を示しており、値上げを受け入れた結果、価格は上昇した。先行き、横ばいで推移しよう。	(21-8-25) (新潟) (富山) (金沢)
	石川県で価格上伸 【新潟県】新潟地区への供給元である阿賀野川骨材協同組合は、出荷量の低迷および電気・燃料費の高騰による製造コストの上昇を受け、令和5年4月からm3当たり500円の値上げを表明した。生コン向け骨材について優先して交渉を続けているが、生コンの値上げが浸透するまでは困難とし、需要者側の購入姿勢は厳しい。販売側では段階的な値上げもやむなしとして、交渉を継続している。先行き、強含みで推移しよう。 【富山県】富山県骨材販売協同組合では、令和5年4月より300円/tの値上げを打ち出した。協組では販売姿勢を強め需要者との交渉を継続している。需要が盛り上がりを欠く中、度重なる値上げに対し需要者側は難色を示しているが、足元では生コンやコンクリート二次製品の市況が上伸しており需要者側との交渉は大詰めを迎えている。先行き、強含みで推移しよう。 【石川県】石川県山砕石業協同組合では、燃料費や製造コスト、輸送コストの増加を理由に令和4年4月より全製品一律m3当たり400円の値上げを打ち出した。当初、需要者側は難色を示していたが路盤材の需要が盛り上がりを欠く中、メーカー各社は更なる採算悪化を避けるべく粘り強く交渉を続けた結果、値上げの一部が浸透した。先行き、横ばいで推移しよう。	(C-40) (新潟) (富山) (金沢)

【価格推移】



品目	7～9 月期の状況と現況	先行き
棒鋼	3県で価格下落 【新潟県】6月に一部の大手電炉メーカーが大幅な値下げを表明したが、販売側が現行価格維持の姿勢を強めた結果、価格は7月にt当たり1,000円の下落にとどまった。需要が低調に推移する中、県内メーカーが数量確保のため関東地域へ販路拡大を実施。県内の需要者側はこのような状況を踏まえ値引き要求を行った結果、販売側が値下げはやむをえないと判断し、価格は8月から9月にかけてt当たり3,000円の下落となった。需要者側は先安観もあり、当用買いに徹している。販売側は価格維持の姿勢を継続しているが、需要者側の値下げ要請は続いており、先行き、弱含みで推移しよう。	(異形棒鋼)  (新潟)  (富山)  (金沢) 
	【富山県・石川県】荷動き、引き合いともに閑散とした状況が続いている。原材料のスクラップ価格は7月から8月にかけてt当たり1,500円上昇となったが、棒鋼の需要不振は長期化し、需要者側における値引き要求の高まりから価格はt当たり2,000円の下落となった。販売側は9月以降の地元中小案件に期待を寄せていたが、公共工事の大型案件も見えず、今後も需要の停滞は続くとの見方が大勢を占めている。先行き、基調は弱いながらもメーカーが価格維持の構えを崩しておらず、横ばいで推移する公算が大きい。	

コンクリート二次製品	新潟県・石川県で売り腰が強まる 【新潟県】メーカー側は、高値が続くセメント価格と電気料金の高騰を背景に、令和5年4月より値上げを実施している。需要者側は、度重なる値上げに難色を示しているが、販売側は6月に非組合員1社が不採算により廃業したことなどから危機感を強め、早急なコスト転嫁が必要として製品毎に強弱をつけながら売り腰を強めてきた。その結果、ボックスカルバートなどの大型製品等で価格が上伸。メーカー側は、今後需要期に差ししかかかる農業用製品等に軸足を置き、値上げを進める構え。先行き、強含みで推移しよう。	(道路用製品)  (新潟) 
	【富山県】メーカー側は、原材料であるセメントや鋼材価格の高止まりによる採算悪化に危機感を強め、値上げを実施している。需要者側は、度重なる値上げに抵抗を示していたが、販売側がこれ以上の採算悪化は容認できないとして売り腰を強めた結果、一部の製品で値上げが浸透。メーカー側は引き続き、値上げ交渉を継続していく構え。先行き、横ばいで推移しよう。	(富山) 
	【石川県】メーカー側は、運搬費やセメント等原材料の高騰が続く中、製造コスト上昇を理由に、7月から値上げを表明。目立った物件はなく、需要が低調に推移する中、需要者側は度重なる値上げに対し抵抗を示しており、交渉は難航している。採算悪化に危機感を強めるメーカー側は製造コスト増加の背景を丁寧に説明し、値上げへの理解を求めて売り腰を強めている。先行き、強含みで推移しよう。	(金沢) 

アスファルト合材	3県とも、値上げを模索 【新潟県】出荷を牽引してきた市内の大型道路工事が一段落したため、荷動きは低調な推移。メーカー各社は、骨材や電気料金等の高騰が製造コストを圧迫していることに加え、ここに来て主原料のストアスが上昇を続けていることに危機感を強め、一部で値上げの動きがみられる。しかし、需要者側はストアス価格がピーク時より下値であるとして、強い抵抗を示しており交渉に進展はみられない。先行き、横ばいで推移しよう。	(粗粒-20)  (新潟) 
	【富山県】維持補修向けの小口工事が中心で、荷動きは低調に推移。メーカー各社は、電気料金と骨材等のコスト増による採算悪化を警戒している。こうした中、主原材料であるストアスが夏以降に上昇を続けていることから、メーカー各社は危機感を強め値上げの機を伺っているものの、需要者側の購入姿勢は厳しく、現行価格の維持が精いっぱいの様相。先行き、横ばいで推移しよう。	(富山) 
	【石川県】ストアス価格が下落時期でも、メーカー各社は電気料金や骨材、運搬費の高騰を理由に需要者側の値引き要求には応じてこなかった。しかし、ここに来てストアス価格が上昇に転じたことで供給側における製造コスト増は避けられず、採算悪化に危機感を募らせている。一方で、これまで需要者側の要求を固辞してきたため、値上げ要請がしづらく、苦境に陥っている。先行き、横ばいで推移しよう。	(金沢) 

【価格推移】

